

なぜ学校と地域の連携？



昨今、少子高齢化や地域のつながりの減少による地域の教育力の低下、発達障害や貧困といった福祉的な課題の増加などを背景に、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校だけではなく、社会全体で子どもの育ちを支えていくことが求められています。一方で、グローバル化、人工知能の進化などにより、変化が激しく予測困難な未来が来ることが予想されています。現在ある仕事の多くが十年後、二十年後には消滅し、子どもたちの半数近くが現在存在していない職業に就くことになり、学校で教えていることが将来の社会で通用しないのではないかと指摘がされています。2020年からの新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を重視し、その理念が前文に明示されています。組織的・継続的に地域と学校が連携・協働して一体的推進が重要となっています。

そこで地域連携研修会では

今年度の5月に地域連携研修会をオンラインで実施しました。この研修会は、地域連携担当教員が地域と連携した教育活動を実践する教職員として、コミュニティ・スクールや地域との連携・協働の必要性や校内での推進役としての役割を学び、学校と地域をつなぐ基本的な事項を習得しました。



対象：地域連携担当教員の校務分掌を初めて経験する教職員、参加を希望する教職員です。

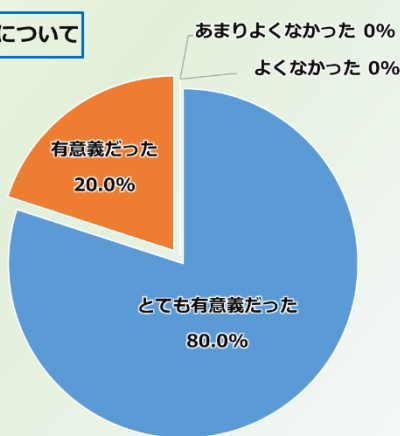
◎オンラインで実施 講師：新潟薬科大学非常勤講師 CSマイスター 大山 賢一 様

講 義「地域とともにある学校づくり」

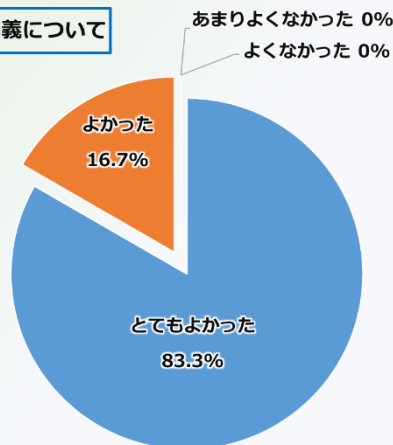
演 習「地域連携担当教員としての課題解決を目指して」

- ・地域連携の必要性を学ぶとともに、コミュニティスクールや地域連携学校協働本部について御講義いただきました。演習では、ブレイクアウトルーム内で課題や悩みを共有し、解決策を探りました。

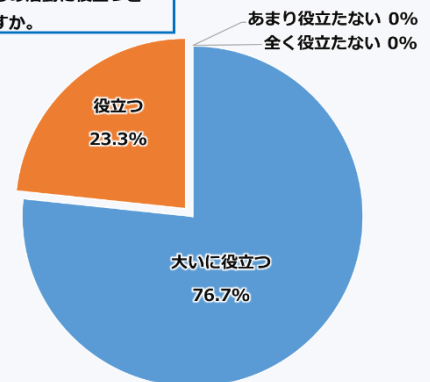
演習について



講義について



今回の研修を受講したことが、これからの活動に役立つと思いますか。



◎学校と地域との連携について、今後ますます必要になってきます。学校と地域が連携し、学校・地域・保護者、それぞれが次代の子どもたちのためにどんな取組ができるかが、これからの大きな課題です。他の学校の教職員との交流をとおり、新たな視点や多くの刺激、発見を得ることができました。

